

新大宮川を美しくする会



ほんきで坂本まち歩き！

～大津市内唯一の重要伝統的建造物群保存地区をめぐる～

●プログラム内容

比叡山延暦寺や日吉社の門前町として発展してきた坂本は、50数カ寺の里坊や日吉社とその末社、町家・農家・社家などで構成された集落が営まれている。里坊とは比叡山上で修行を行っていた僧が、高齢となって山麓に賜った隠居所のことである。その建造物は江戸時代中期から昭和20年以前に建てられたものが数多く見られ、堂や書院・庫裏・庭園は道に面した門や、穴太衆積みの石垣・生垣などの工作物によって囲まれ、優れた美しい自然的景観と調和して豊かな歴史的空間を形成している。平成9年（1997）10月31日、坂本独特の歴史的空間（里坊群）を中心とした28.7ヘクタールが国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。今回、元大津市歴史博物館副館長で、坂本の重要伝統的建造物群保存地区選定時の主担当であった吉水眞彦氏の解説のもと、じっくり、しっかり、本気で坂本のまちをめぐる。

●対象、参加条件

どなたでも可。ただし、小学生以下は保護者同伴。

●日時

10月5日（土）
9時から12時

●定員

20名程度

●集合場所

京阪石山坂本線坂本比叡山口駅前

●フィールド

屋外

●参加費

500円/人



●申込方法、×切、申込先

10月3日（木）までに、当会のHPを確認し、以下のURLの参加申込フォームからお名前、ご住所、当日の連絡先など必要事項を入力・送信して申し込んでください。

<https://forms.gle/9ZtzhULLiv34sLg89>

●問合せ先

団体名：新大宮川を美しくする会

メール：shinomiyagawa@gmail.com



HP URL <https://ameblo.jp/shinomiyagawa/entry-12858408909.html>
検索名：